

中野神明小学校・新山小学校統合委員会 要 点 記 録

第 9 回

| | | |
|------|---|---|
| 開催日時 | 平成28年3月15日(火)午後6時30分～7時25分 | |
| 開催場所 | 南中野区民活動センター洋室1号 | |
| 出席者 | 委員 | 河原井守、大川輝男、山本隆良、小川恵子、 大山理奈、大川奈々、大矢進一、裏地加代子、永見俊光、 三小田真乃美、岡本賢二、廣瀬淑識、吉羽茂、小菅和子、 板垣淑子、浅野昭 (敬称略、順不同) |
| | 事務局 | 学校再編担当 |
| 会議次第 | 【報告】 1 統合新校の校名候補について 【議事】 1 統合新校の校歌・校章の制作方法等について 2 学校指定品について 3 その他 | |

第9回 中野神明小学校・新山小学校統合委員会 会議要旨

開 会

委員長

定刻となったため、これより第9回の統合委員会を開会する。本日、傍聴者はいない。
議事に入る前に、事務局から報告事項がある。

1 報 告

報告(1) 統合新校の校名候補について

委員長

それでは、「統合新校の校名候補について」事務局からの報告を求める。

事務局

前回の統合委員会で取りまとめた統合新校の校名候補について、2月22日に委員長と副委員長から教育委員会へ報告した。報告書の文案については、事前に委員長と副委員長と調整を行い作成したものである。

■報告書「統合新校の校名候補について」事務局から説明

中野神明小学校・新山小学校統合新校の校名候補について、以下のとおり意見を取りまとめたので、学校統合委員会の設置に関する要綱第3条第1項の規定に基づき、報告します。

1 校名候補

「中野区立みなみの小学校」(なかのくりつみなみのしょうがっこう)

2 選定理由

- ・中野区の南に位置する学校の校名であると、すぐに察することが出来る。

- ・音の響きが優しく、誰からも親しみやすいイメージがあり、小学校の名前として相応しい。
- ・ひらがなの校名は中野区内では他にないため、新しい学校が出来たことが感じられる。
- ・「みなみ」が付くことによって、南中野地域の小学校・地域の連帯感をさらに深め、小中連携の南中野中学校とも繋がりが感じられる。

3 選定方法

統合の対象となる中野神明小学校・新山小学校の児童・保護者、地域の保育園の保護者、地域の方などから統合新校の校名を募集し、その結果を参考に協議して意見を取りまとめた。

4 検討経過

- ・平成27年4月28日、6月2日 検討方法の協議
- ・平成27年7月6日～9月7日 校名募集
- ・平成27年9月17日、11月16日、平成28年2月1日 校名の協議

1 議 事

議事(1) 統合新校の校歌・校章の制作方法等について

委員長

それでは、議事「統合新校の校歌・校章の制作方法等について」事務局の説明を求める。

事務局

前回の統合委員会で、校歌の歌詞と校章の図案を募集することに決まったので、応募用紙の案と周知用ポスターの案を作成した。校歌と校章を同時に募集するので、両方の応募を兼ねている。なお、先日開催した多田小学校・新山小学校統合委員会でも募集することになったが、応募用紙に現在の校章の由来と、校名候補の選定理由を載せることに決まったので、同じ南中野地区での募集ということから内容を合わせて作成した。

募集範囲は校名のときと同じ、両校の児童・保護者等、学校関係者の他、地域の保育園・幼稚園の保護者、町会や自治会等の地域関係者となる。

募集方法は、両校の児童・保護者、教職員、地域の保育園、幼稚園の園児の保護者には、応募用紙がついたニュースを送付。他、地域住民等には、統合委員会ニュースに、応募用紙の配布場所と応募箱の設置場所を記載してお知らせする。募集の周知方法として、地域のお知らせ板や応募箱設置箇所、南中野中学校に募集ポスターを掲示する。

■資料「応募用紙（案）」を事務局から説明

1 募集時期

第9回学校統合委員会ニュースの発行日（4月上旬）から5月13日金曜日まで

2 募集内容

(1) 校章

- ア 新しい学校にふさわしい校章のデザイン
- イ 作品の説明（デザインの意味、思いなど）

(2) 校歌

- ア 歌詞に取り入れたい言葉（フレーズ・単語）

3 留意事項

(1) 校章

- ア 未発表・オリジナルの作品に限る
- イ 応募作品は返却しない
- ウ 応募作品に関する著作権は、中野区（(仮称)みなみの小学校）に帰属
- エ 応募作品については、学校統合委員会で修正を加えることがある

(2) 校歌

- ア 応募された言葉は、専門家に作詞を依頼する際の参考とするため、必ず校歌に入るとは限らない

4 応募先

南中野区民活動センター、弥生区民活動センター、中野神明小学校、新山小学校、しんやまの家、やよいの園に応募箱を設置

※周知のポスターも内容確認のため配付

委員長

事務局から説明のあった内容について、意見や質問等があれば、お願いしたい。

委員

事務局の作成した案が良いと思う。

委員

校章のデザインは、校名が抽象的なので難しいと思う。

委員長

出来るだけ多くの応募があるよう、各委員が周りに働きかけをしたり、また自身も応募したりするなどお願いしたい。他に意見はないか。特になければ事務局の作成した応募用紙の案及び周知方法で決定したいと思うがいかがか。

—異議なし—

事務局

前回の統合委員会でも話したが、校歌の制作をしていただく方の推薦等について、引き続きお願いしたい。

委員長

知り合いでそういう方がいたら、事務局へ推薦していただければと思う。

議事(2) 学校指定品について

委員長

それでは議事「学校指定品について」にすすむ。事務局から資料について説明する。

事務局

現在の中野神明小学校と新山小学校の学校指定品について資料にまとめたので説明する。今後、両学校が統合新校の学校指定品を決めることになるが、統合委員会としても意見をいただきたい。

■資料「統合対象校の学校指定品等の状況について」事務局からの説明

| | | 中野神明小学校 | 新山小学校 |
|------|------|------------------------------------|------------------------------------|
| 通学帽子 | | 1年生：黄色（交通安全協会の支給品） 2年生～6年生：指定なし | 1年生：黄色（交通安全協会の支給品） 2年生～6年生：指定なし |
| 体育着 | 上 | 白色・半袖シャツ （校章入り、首周りと袖口に紺色のライン） | 白色・半袖シャツ （校章入り、首周りと袖口に紺色のライン） |
| | 下 | 紺色 ハーフパンツ | 紺色 ハーフパンツ |
| | 紅白帽子 | つば無し | つば有り |
| 水泳帽子 | | 白色・メッシュタイプ | 白色・ワンタッチマークタイプ |

委員長

学校指定品等について説明があったが、内容についてご意見、ご質問があったら、お願いしたい。

委員

水泳帽子の「ワンタッチマークタイプ」というのはどうものか。

委員

水泳の級のテープがワンタッチで付けられるように、帽子前面にマジックテープの片側が付いた仕様になっており、検定があったときに、直ぐ自分で付けることが出来る。

委員

中野神明小学校の水泳帽子はメッシュの生地で、マジックテープの片側を親が縫いつけているので、それが最初から付いたものだ、とてもありがたい。

委員

中野神明小学校の紅白帽子は、なぜつばが無いのか。日焼けのことを考えると、つばが有った方が良いと思う。

委員

つば有りの紅白帽子は、マット運動をするときなど運動によっては邪魔になる。

委員

自分は、つばの有無については特にこだわらない。

委員

統合新校の体育着はいつ購入できるのか。

事務局

学校指定品は、平成 28 年度にサイズ等の調査をして、在校生については統合前に支給することになる。

委員

体育着は運動会の前など、頻繁に着がえるものなので、必ず全て指定されたものでなければいけないというのはない。基本、白色で同じようなものであれば、指定品でなくても体育のときに着ることは可能である。

委員

今は南中野地区の 3 校とも通学帽子が無いが、統合新校になっても無いという選択でも良いのか。

委員長

そう言ったことも意見として挙げてもらえば良い。学校指定品となった場合、統合時は支給されるかもしれないが、無くしたときにどうするのか、実費で買わないといけないのかなど、学校側がどういうふうに対応するかということも大事になってくる。

委員

集団行動のときには、帽子が有ったほうが良いと思う。

委員

中野神明小学校と多田小学校、新山小学校の校長で話し合ったのだが、中野区内で通学帽子のない学校もあるが、今回の統合新校については、3校が2校になって新しい学校が出来るので、共通の通学帽子を被ることによって同じ学校に通学しているという気持ちが生まれ、子どもたちの統一感や連帯感の醸成に繋がると考えている。また、みなみの小学校と南台小学校では違う色の帽子にすると、地域から見ればどちらの小学校の子どもか一目で分かり、地域全体で見守ることが出来る。他に、校外学習や遠足、社会見学等で混んでいるところに行ったときに、帽子が目印にもなる。実際に今、新山小学校ではスカーフをわざわざ巻かせて校外学習などを行っている。確かに通学帽子を作るとなると、忘れたときにどうするかなどの指導に手間がかかることは事実だが、新しい学校での統一感を形の上でも意識させるということもあり、あったほうが良いと思う。

委員

高学年になったら通学帽子を被るのが、嫌になるのではないかと思ったが、いずれにしても学校が主導となって学校指定品など決めていくということであれば、学校生活のうえで必要なものを選んでもらえると思う。

委員

通学帽子が指定になった場合、幾ら負担するのかということが気になる。

事務局

おおよそ2,000円以内の金額である。

委員

通学帽子というのは6年間使うのか。

委員

1年生は全部の学校が交通安全協会から支給される黄色い帽子を被らせている。2年生から6年生まで通学帽子を使用する。

委員

靴のようにサイズが小さくなって買い換えることはないのか。

委員

帽子で大きさが変わって買いかえたというのは、あまりない。

委員

今はワンタッチで伸縮出来る帽子もあるので、そういうものを使用するのも良いのではないか。

委員

1年生に黄色い帽子を支給しているが、この1年間なくしたという児童はいない。1年生でさえなくさないの、そう簡単になくすものではないと思っているので、そのあたりの心配はない。

委員

通学帽子が有る学校と無い学校の両方に勤務した経験があるが、やはり全員で一斉にかぶっているときには、所属感、一体感というものがある。また、統合した当分の間は、通学路で南台小学校とみなみの小学校に行く子どもたちがクロスするような場所があるので、一目でどちらの学校の児童がわかるというのはいいのかと思う。

委員

今回の統合の場合は、交通安全のことを一番に考えると、高学年でも通学帽子があったほうがいいのではないかと考えている。教員の立場から言うと、確かに高学年に被らせるというのは生活指導が大変だが、逆に言えば、そのことで高学年も自分たちの学校のことを考えていき、後輩たちのために自分たちも被るのだという気持ちを持たせて、学校を整えていくことが大切だと思う。

委員長

いずれにしても現場の先生方の意見を最優先にしていかないと、まとまらないと思う。その中でPTAの意見を取り入れて最良のものをつくっていただくのが一番良いのではないかと思う。学校指定品については、学校が主導となって決めていただくということでお願いしたいかがか。

—異議なし—

議事(3) その他

委員長

それでは議事「その他」にすすむ。事務局から円滑が再編のための取り組み事業について説明がある。

事務局

今年度3回目の「なかよしスマイル交流会」が、2月12日多田小学校にてなわとび教室が実施された。写真を回覧するので、当日の様子については学校から話していただけたらと思う。

委員

今回は、なわとびの世界チャンピオンに来ていただき、高度な技などを見せていただいた。その後、グループに分かれて、教わった技の練習をした。4年生にとって3回目の交流事業になるので、ただ先生に教わってやるというよりも、グループの中で教え合ったりして、楽しみながら活動するような姿が見られ、交流が深まってきたということが感じられた。これも1年間やってきた成果の表れだと思う。来年度は、1年生から5年生でなかよしスマイル交流会を実施する計画で進めている。

委員長

次に統合時の校舎として使用する新山小学校の来年度の改修事業について説明がある。

教育委員会事務局副参事(子ども教育施設担当)

新山小学校については、今年度に校舎の一部を改修しているが、来年度も引き続き校舎の改修を行う。まず、統合時の児童数に対応する教室数を確保するために、校庭の南側に仮設校舎を建設する。その準備として、卒業式が終わった3月末から校庭にフェンス等を設けて、本格的な建設は連休明けくらいから7月の中旬ごろまでを予定している。仮設校舎には、キッズ・プラザと図工室、少人数教室が入る予定である。その後、一部秋にかかる工事もあるが、主に夏休み中に校舎の普通教室の整備や給食室の改修等行う。

委員長

これから校舎の建て替えもあるが、新しい学校を創るためには、何れそういった時期に当たるのは致し方ないことである。大人たちがそれを理解するのはもちろんだが、子どもたちに対して教育していくのが、我々を含め大人たちの課題だと思う。区役所も最大限の努力をしていただき統合に向けて進んでいければと思う。

最後に次回の学校統合委員会の開催について日程調整をする。

一日程調整—

委員長

では、次回は5月31日火曜日、午後6時30分から、場所は南中野区民活動センターとさせていただきます。時期が近くなったら開催通知を送付する。

それでは、本日予定していた議事は全て終了した。ほかに何か委員から意見があれば発言をお願いします。なければ本日の統合委員会は、以上をもって終了する。